

目次

ハイブリッド民法シリーズの刊行にあたって
 第2版はしがき
 はしがき
 凡例
 著者紹介

序 家族法を学ぶにあたって	1
第1章 親族法総説	5
1 家族法の基礎	5
2 氏名	12
3 戸籍	15
4 家事紛争と家庭裁判所	20
5 親族	28
第2章 婚姻	32
1 総説	32
1 婚姻制度の歴史(32)	
2 現代日本の婚姻法の特徴(33)	
2 婚姻の要件	34
1 婚姻の成立要件：届出(34)	
2 婚姻の有効要件：婚姻意思(35)	
3 婚姻障害事由(1)：婚姻適齢(37)	
4 婚姻障害事由(2)：重婚の禁止(38)	
5 婚姻障害事由(3)：近親婚の禁止(40)	
6 制限行為能力者の婚姻と意思能力(41)	
3 婚姻の効果(1)—氏・夫婦間の権利義務・子との関係	42
1 夫婦の氏(42)	
2 夫婦間の権利義務等(43)	
3 子に関する効果(50)	
4 婚姻の効果(2)—夫婦財産制等	50
1 総説(50)	
2 夫婦財産契約(51)	
3 法定財産制(52)	
5 婚姻の無効と取消し	59
1 婚姻の無効(59)	
2 婚姻の取消し(61)	

第3章 離婚	65
1 総説	65
1 離婚制度の歴史(65)	
2 現代日本の離婚法の特徴(65)	
2 離婚の成立と効力	66
1 離婚の種類(66)	
2 協議離婚(66)	
3 調停離婚と審判離婚(72)	
4 裁判離婚(73)	
5 和解離婚・認諾離婚(80)	
3 離婚の効果	81
1 離婚当事者に関する人的効果(81)	
2 離婚当事者に関する財産的効果(財産分与)(82)	
3 子に関する効果(89)	
第4章 婚外関係の法的保護	93
婚約・内縁(事実婚)・同性カップル	
1 総説	93
2 婚約	94
1 婚約の成立と効力(94)	
2 婚約の破棄(95)	
3 結納の法的取扱い(96)	
3 内縁(事実婚)	96
1 内縁とは(96)	
2 内縁の成立要件(98)	
3 内縁の効果(98)	
4 生存中の内縁解消とその法的取扱い(100)	
5 内縁当事者の死亡における法的取扱い(102)	
4 同性カップルの法的取扱い	106
<i>Exam</i> (109)	
第5章 親子	111
1 親子法総説—法律上の「親子」	111
2 実子	112
1 嫡出親子関係(112)	
2 非嫡出親子関係(122)	
3 準正(131)	
3 養子	131
1 序説(131)	
2 普通養子(132)	
3 特別養子(143)	
4 生殖補助医療による親子(人工生殖子)	149
1 序説(149)	
2 配偶者の精子・卵子による生殖補助医療(149)	
3 第三者の精子・卵子による生殖補助医療(151)	
4 代理出産(懐胎)(152)	
第6章 親権	155
1 親権の意義	155

2 親権者	155
1 嫡出子(婚内子)の親権者(155)	
2 嫡出でない子(婚外子)の親権者(157)	
3 親権者の変更(158)	
3 親権の内容	159
1 身上監護(159)	
2 財産管理(160)	
3 利益相反行為と代理権の濫用(162)	
4 監護権(169)	
5 子の引渡し(169)	
4 親権の終了	173
<i>Exam</i> (175)	
第7章 後見・保佐・補助, 扶養	176
1 後見	176
1 序説—後見の種類(176)	
2 未成年後見(176)	
3 成年後見(180)	
4 保佐(195)	
5 補助(196)	
6 任意後見(197)	
2 扶養	201
1 序説(201)	
2 扶養当事者(201)	
3 権利義務の発生・程度・方法(204)	
4 扶養の順位(207)	
5 過去の扶養料(210)	
6 事情の変更による扶養に関する協議または審判の変更と取消し(213)	
7 扶養に関する将来の権利の処分(213)	
<i>Exam</i> (215)	
第8章 相続法総説および相続人	216
1 相続法総説	216
1 相続の意義(216)	
2 相続法の構造(218)	
3 相続税(219)	
2 相続の開始	220
1 死亡(220)	
2 場所(222)	
3 相続人	222
1 胎児の権利能力(223)	
2 法定相続人の範囲とその順位(225)	
4 相続資格の剥奪	229
5 相続回復請求権	238
1 意義(238)	
2 884条の適用場面(240)	
第9章 相続の承認, 放棄および相続財産の清算	243
1 相続の承認, 放棄	243
1 相続放棄(243)	
2 限定承認(246)	
3 単純承認(247)	
4 承認・放棄の選択(249)	
2 財産分離	253

3	相続人の不存在	255
1	相続人の存否不明(255)	
2	相続人の不存在確定後の相続財産(257)	
第10章	相続の効力	260
1	相続の対象	260
1	包括承継(260)	
2	祭祀に関する権利の承継(260)	
3	一身専属的な権利義務(261)	
4	被相続人に属しない権利義務(265)	
2	遺産共有	266
1	遺産共有の意義(266)	
2	当然分割か遺産共有か(268)	
3	相続財産の管理(271)	
3	相続分	278
1	法定相続分・指定相続分(278)	
2	相続分による権利義務の承継(280)	
3	具体的相続分①：特別受益がある場合(287)	
4	具体的相続分②：寄与分を認める場合(294)	
5	相続分の譲渡と取戻権(297)	
4	遺産分割	298
1	遺産分割の当事者(298)	
2	遺産分割の対象(300)	
3	遺産分割の方法(303)	
4	遺産分割の効力(313)	
	<i>Exam</i> (317)	
第11章	遺言	318
1	遺言制度の概要	318
1	遺言制度の意義(318)	
2	遺言の特徴(319)	
3	遺言能力(320)	
4	遺言の解釈(322)	
5	共同遺言の禁止(323)	
2	遺言の方式	324
1	自筆証書遺言(325)	
2	公正証書遺言(329)	
3	秘密証書遺言(331)	
4	特別方式(332)	
3	遺言の撤回と無効・取消し	334
1	遺言の撤回の自由(334)	
2	遺言の撤回の擬制(335)	
3	原遺言の非復活(336)	
4	死因贈与の撤回(337)	
5	遺言の無効・取消し(338)	
4	遺贈	340
1	遺贈の意義と当事者(340)	
2	遺贈の一般原則(340)	
3	包括遺贈(341)	
4	特定遺贈(344)	
5	負担付遺贈(346)	
6	その他の遺贈(347)	
5	特定財産承継遺言	349
6	遺言の執行	350
1	遺言執行の意義(350)	
2	遺言執行者の指定・選任と復任(351)	

- 3 解任・辞任(352) 4 遺言執行者の任務(352) 5 報酬と費用
(355)

第12章 遺留分	357
1 遺留分制度の概要	357
2 遺留分の割合と遺留分を算定するための財産	359
1 遺留分の割合と額(360) 2 遺留分を算定するための財産(360)	
3 遺留分侵害額の算定	364
4 遺留分侵害額請求権の行使	368
1 遺留分侵害額請求権の行使方法(368) 2 請求権者と相手方(368)	
3 請求の順序(368) 4 遺留分侵害額請求の負担の限度(370)	
5 請求権の行使の方法(370) 6 遺産分割協議の申入れと期間制限 (370) 7 遺留分侵害額請求権と代位行使(371) 8 支払期限の許 与(372)	
5 遺留分侵害額請求権の消滅と制限	373
1 時効・除斥期間(373) 2 遺留分侵害額請求権の事前放棄(373)	
3 遺留分侵害額請求権の行使の濫用(375)	
第13章 特別の寄与	377
1 制度趣旨	377
2 特別寄与料請求の要件	378
1 特別寄与者(378) 2 特別の寄与(379) 3 寄与分制度・特別縁 故者制度との比較(380)	
3 手続	381
<i>Exam</i> (384)	
<i>Hybrid Exam</i>	385
参考文献案内	387
判例索引	391
事項索引	397

Topic 目次

- | | | | |
|-----|-----------------------------------|------|--------------------------------|
| 1-1 | 戸籍と性別(17) | 7-2 | 親族による後見と後見制度支援信託・後見制度支援預金(192) |
| 2-1 | 女性の再婚禁止期間の廃止(39) | 8-1 | 法定相続情報証明書(224) |
| 3-1 | 離婚した場合の養育費等の支払確保と民事執行法(91) | 10-1 | 特別受益証明書(相続分皆無証明書)(293) |
| 4-1 | 重婚的内縁をめぐる問題(99) | 10-2 | 配偶者の居住保護(309) |
| 5-1 | 300日問題・無戸籍(者)問題(120) | 11-1 | 無効な遺言の死因贈与としての扱い(327) |
| 5-2 | 生殖補助医療をめぐる現状と法整備の行方(153) | 11-2 | 受遺者の選定を遺言執行者に委ねる遺言(354) |
| 6-1 | 離婚後の子の親権等に関する法改正の議論(157) | 12-1 | 2018年相続法改正前後の遺留分制度(358) |
| 6-2 | 国境をまたぐ子の引渡請求—ハーグ条約(171) | 12-2 | 遺留分制度と家族の多様性(374) |
| 6-3 | 児童虐待への法的対応(174) | 13-1 | 寄与分制度における相続人の履行補助者の構成(378) |
| 7-1 | 親族後見人が第三者後見人か?—本人の意思に寄り添うために(182) | | |

▶▶▶ Further Lesson 目次

- | | | | |
|-----|---------------------------------|------|----------------------------------|
| 3-1 | 離婚における裁量棄却(75) | | 判断基準(259) |
| 4-1 | 内縁の保護の限界と夫婦同氏制度の問題(105) | 10-1 | 相続人の登記申請義務(281) |
| 5-1 | 血縁と社会的事実・意思(130) | 11-1 | 包括遺贈と相続分指定(343) |
| 7-1 | 任意後見契約の前と後—財産管理委託契約・死後事務契約(200) | 11-2 | 後継ぎ遺贈に類似した制度(347) |
| 7-2 | 法律上の父子関係の否定と養育費(211) | 12-1 | 遺留分と信託の設定(363) |
| 8-1 | 廃除原因と離縁原因・離婚原因との関係(236) | 12-2 | 事業承継を保護するための遺留分の制限(375) |
| 9-1 | 特別縁故者に対する相続財産分与の | 13-1 | 特別の寄与の制度における親族ではない者による寄与の評価(382) |